

生活者ネットニュース



165号
2024.8.11



■発行：多摩・生活者ネットワーク ■発行責任者：原田恭子 ■連絡先：〒206-0014 多摩市乞田 1227-1-112
■TEL:042-376-5758 ■FAX:042-376-8854 ■http://www.tama-net.jp/ ■E-mail :office@tama-net.jp



市議会議員
岩崎みなこ

■DV被害者救済は部署の垣根を越えて

～子ども連れの困難を理解して！

配偶者からのDVを逃れて多摩市に転入した方の相談をもとに一般質問しました。保育所入所申請手続きでは、夫の就労証明の入手など加害当事者との接触が必要な要求や、その相談を求めた多摩市女性センターも理解が乏しく絶望

的になったとうかがっていました。相談を受ける職員の「DV被害者は〇〇なはずだ」という固定観念の払拭や、離婚に至っていない、子ども連れのDV被害者の保育所入所の緊急性の高さなど背景を理解する必要を質すと、女性支援法についての庁内研修の中で理解を深めたいとの答弁があり、質問終了後、当事者に謝罪がありました。

■日医大移転・建替え断念！今後の多摩市の姿勢は

ニュータウン当初に開院し南多摩の広域医療拠点でもある日医大永山病院。移転・建替えにあたっては、市も土地確保や整備など協力してきましたが、建設費高騰や現病院経営の悪化などを背景に高まる市への要求に市が応えられず、建替えは断念に至りました。この間の市の議会や市民への情報公開、市の支出の総括、今後の医療拠点確保など市の考えを確認する必要から一般質問しました。この件について質問通告したのは、たった一人でした。



日医大移転予定だった旧ニュータウン事務所跡

日医大に無償貸与するために、市はURとは違約金にも触れた「確認書」を交わした上で土地交換しています。一方、日医大とは違約金などに触れた、同様の確認書は交わしていません。「交渉ごとだから」と、詳細を明らかにせず議会にも口止めするような情報提供のしかたについては、議会も質すべきです。日医大永山病院は市の保健医療計画にも位置付けられており、拠点機能を継続できる協議を今後も続けるとの市の姿勢を確認しました。

「生活者ネットワーク」は多摩市をはじめ都内32の自治体にあります。都・区・市議会議員40名が安心・共生・自治をめざし、それぞれの地域課題に取り組んでいます。

6月議会 一般質問より

■スクールカウンセラーを信頼して相談した

のに…とならないように。相談者には個人情報の取り扱いルール周知を。

スクールカウンセラー（以下SC）は学校内で保護者や生徒、先生からの相談を受けることが知られますが、事故や事件があった場合には子どもの心のケアにあたり、また学校に必要な研修も行えます。6月議会では、そのSCへの相談の内容が職員室で供覧されていたという保護者の相談をもとに一般質問しました。

東京都教育委員会のガイドラインでは、相談の内容は、今後の改善に資する場合は学校全体で共有となっていますが、相談者がそれを知らされずにSCに相談しているなら、カウンセラーへの信頼を損なう可能性があります。周知と納得の必要性を質したところ多摩市教育委員会は、相談者に知らせる必要を認め、今後はスクールカウンセラー通信などで周知することが有効と答弁しました。

■市民に供されていない公園緑地の「未供用地」とは？

市には200を超える公園がありますが、「多摩市公園緑地マニュアル」（市民に非公開）には、公園緑地課がもつ20カ所（約36,000㎡）の未供用地のリストが載っています。ニュータウン開発の際に土地買収はしたものの活用には至らない土地なども含まれますが、開発からおおよそ50年。置き土産ともいえる土地の存在を明らかにし、管理や活用について市民と考える必要を質しました。未供用地には、草刈りなどの管理経費がかかっており、市民の利用希望や、他自治体の活用事例を参考に、今後の活用を検討したいとのことでした。また「公園緑地マニュアル」は多摩市の公園緑地の多角的な情報が満載です。市民への公開を求め、前向きな答弁を得ました。



山王下緑地の未供用地



市議会議員
岸田めぐみ



行ってきました 渋谷区のトイレ調査2024 (福祉部員S)

多摩・生活者ネットワークでは、会員が環境・福祉・教育に3つの部会に分かれて活動し、社会や市で問題になっていること等を調査しています。

福祉部会では2020年から市内の公共トイレの調査を行ってきました。見てきた改善点としての一つは、「ドアを外開きにしてほしい」ということでした。リュックなど背負っていると、内開きだと出入りしづらいからです。

今回はいくつかの渋谷区のトイレを調査しました。日本財団の「THE TOKYO TOILET」projectにより整備され、2024年4月に渋谷区へ移管されました。映画「PERFECT DAYS」でも舞台となり、見て回るツアーは外国人にも人気があるようです。公共トイレが「行きたくなるような場所」になるようにと、世界で活躍するクリエイターが設計に携わっていて、どれも個性的な作品です。全部で17か所ですが、種類などから8か所に絞りました。

声で作動するトイレは、スマホをかざしてから声を出すと動くというもので、私たちはうまくできませんでしたが、偶然出会った建築関係の大学生グループは、1度は作動しましたが、その後はできませんでした。手動も可です。

共用トイレについては多様性から生まれたものと思われませんが、実際には「女の子が怖くて入れない」という声があり、やはり女性専用は必要かもしれません。

防犯とプライバシーに配慮した、足元だけ見え、上半身は見えにくくなっていくトイレは清潔感もあり良いと思いました。

ドアの開きについてはスライド式か内開きがほとんどでしたが、トイレの中が広いため内開きでも問題はありませんでした。

清掃について、実際に掃除をしている人に話を聞くことができ、1日1回、駅前などは1日3回行っているということでした。やはり、回数が重要と感じました。多摩市の今ある公共トイレを快適に使えるようにするためには、まず週2回の清掃を増やすことではないでしょうか。



*「THE TOKYO TOILET」HPより



多摩生活者ネットワークは7月7日の都知事選挙で前参議院議員の蓮舫さんを応援、都議補欠選 南多摩選挙区（多摩市・稲城市）では岩永ひさかさんを推薦しましたが、残念な結果に終わりました。若者政策、インクルーシブ教育ほか都政の課題に今後も取り組んでいきます。

名称	完成年月日	男性個室	男性小	女性個室	誰でも	共用	特徴	
笹塚緑道トイレ	2023.3	1	3	2	1	0	子ども用小・洋式・手洗い場・鏡あり。ドアにウサギのシルエット	
幡ヶ谷公衆便所	2023.2	0	2	0	1	1	車が入れそうな広い空間がある。共用トイレにはベビー用なし。	
七号通り公園公衆トイレ	2021.8	0	2	0	1	0	ボイスコマンド。手動でも動く。ベビー用なし。	
西原1丁目公園公衆トイレ	2020.8	0	0	0	1	2	ドアのグリーンがきれい。夜は優しい明りがあたりを明るく照らすらしい。	
代々木深町小公園	2020.8	1	1	1	1	0	中が丸見えだが鍵を閉めると見えなくなる。1面が全面鏡。男性個室故障中、男性が女性用を使っていた。	
広尾東公園	2022.7	0	0	0	2	0	だれでもの中に男性用小トイレがある。一つはベッドがあり、もう一つはオストメイトあり。周囲は木が大きくて涼しい。建物の背面はパネル。夜は世界の人口と同じ79億通りのパターンの照明がきれいらしい。	
恵比寿駅西口	2021.7					2	3	共用男性小2 駅近。足元が見えるので防犯にもなる。上半身はアルミルーバーでプライバシーが守られる。
鍋島松濤公園	2021.6	0	2	0	1	1	子ども用あり、ドアは外開きだが重い。木を使った内装と外観が公園と調和している。犬も一緒に入れるよう、リードをかける所がある。	

「恥を知れ、恥を！」……と言われたい議会であり続けるために

ありの眼



多摩市議会が「議会基本条例制定をめざす議会改革特別委員会」を設置したのは2007年。「市民にもっとよく見え、わかりやすく、市民が参画できる議会」を目指し、出前議会、有識者や市民の参考人招致、パブリックコメントなどを通じて、議会をより身近に感じるようになった市民は少なくなかった気がします。今も思い出すのは、「議会改革したって市民が幸せにならなければ意味がない」という意見交換会での男性の発言です。議会基本条例ができて17年経ち、議会は今年、自ら検証作業をしています。議会はどうか改革されたのか、それは市民にどんな影響をもたらしたのか、市民の評価は必要ないのでしょうか。「そもそも条例を知らない市民に聴いてもしようがない」という議員の方もいるようですが、自分のまちの議会を市民と議会が絶えずブラッシュアップしていく、その道筋を検証を通じてどう描くのか、期待して待つ今日この頃です。